

## 第2回 「樋口恵子賞」を受賞 オンブズマンの継続的な活動を評価



前列左2番目から樋口恵子さん、受賞団体の「日本コンチネンズ協会」山西哲郎さん、「UMEプロジェクト」高橋真理子さん、O-ネット三木代表、「砵むらおばちゃん会議」大海篤子さん



表彰状を受け取る三木代表 ※写真提供(上・右) 日本コンチネンズ協会

昨年12月、「高齢社会をよくする女性の会」による「第2回 樋口恵子賞」をO-ネットが受賞しました。12月2日に東京ウィメンズプラザで表彰式が行われ、三木秀夫代表理事が出席。表彰状を受け取りました。副賞は賞金30万円でした。

同賞は、男女が共に生きがいをもって社会に参加し続けられるような超高齢社会を作り出すための活動に取り組んでいる個人・団体を表彰しようと2022年に創設されました。

評論家として、また「高齢社会をよくする女性の会」代表として活動を続けている樋口恵子さんが、これまで自身が表彰された際に受け取ってきた賞金を社会に還元しようと考え、同会の仲間たちと相談して設けられたものです。

2回目となる今回は全国から54件の応募申請があり、審査の結果、「よりよい高齢社会に向けて意義ある活動をしている」と評価された4団体が選ばれました。O-ネットは、岡本祐三前代表をはじめとする「介護の社会化を進める1万人市民委員会・関西」のメンバーが中心となって2000年に立ち上げ、以来23年間で延べ100か所以上の施設で活動してきました。コロナ禍の間も途絶えることなく施設訪問やオンラインを活用した面談を続けてきたことが高く評価されました。

また、市民が利用者の声を代弁することで真の意味での「利用者本位」のサービス実現の一端を担い、活動で知り得た施設の現状や課題を発行物を通して社会に発信してきたこと、加えて、外国人介護職員を支えるための新たな活動を展開し始めたことなども評価の要因となりました。「樋口恵子賞」の受賞は、会員やオンブズマンとして活動を支えてくださったという皆様あつての成果です。これを励みにO-ネットでは、より一層の発展に努めていきます。

「外国にルーツがある人々への支援活動 応援助成第4回」で、中央共同募金会から219万円の助成を受けることが決まりました。対象となるのは、外国人介護スタッフ応援隊事業。期間は2023年10月～24年9月の1年間です。O-ネットでは昨年・一昨年も同助成を受けており、3年続けての採択となりました。

### 中央共同募金会から 219万円の助成決定

今回の助成では、これまで同様、①日本語による対話活動や、困りごととの聴き取りと施設への橋渡しを通して、外国人介護スタッフをボランティアでサポートする「応援隊活動」、②応援隊員が一堂に会して情報交換や事例の共有を行う「応援隊ミーティング」、③受

入れ施設やO-ネット関係者で構成し事業の方向性や課題を協議する「企画委員会」、④活動の担い手を育む「応援隊養成講座」の企画と開講案を進めます。加えて、新たに大阪府内の特養や介護付有料老人ホームを対象にアンケートを行い、外国人介護スタッフの受入れ状況や支援体制に関する調査を実施します。アンケート項目や結果の分析は、応援隊企画委員会で協議・検討を行い、調査結果をまとめた報告書を作成して、社会に発信していきます。

アンケートの実施は5月、報告書完成は9月中旬を予定。取り組みに向けて、新年度も気の抜けない日々が続きます。

### 第3期応援隊養成講座を開講

12月2・10・16日の3日間、第3期外国人介護スタッフ応援隊養成講座を開講しました。受講者の皆さん



講座最終日の12月16日、「応援隊活動を体験して」で体験談を語る2期生の松永令子さん(右)と1期生の難波幸子さん

んは会場やオンラインで、外国人スタッフの困りごとを聴いて施設へ橋渡しする方法や、日本語サポートについて学びを深めました。今期の受講者は29人。朝日・毎日・読売の新聞各紙で紹介されたこと、大阪市ボランティア情報誌COMVOに活動内容が掲載されたことなどもあり、多くの市民に広報することができました。

受講者の内訳は、介護職経験者や施設関係者が19人と多く、日本語教師・日本語ボランティア関係者の6

人を大幅に上回りました。

介護関係者が多かった背景には、9月に完成した応援隊活動のパンフレットを施設に配布した際、養成講座の募集要項も同封したことが要因として挙げられます。また、特定技能などの在留資格をもつ外国人スタッフを受入れる施設が増加するなか、彼ら・彼女らが抱える課題やサポート方法について知っておきたいという、施設の関心の高まりもあると思われます。

受講者のうち20人は1月～2月にかけて、活動中の応援隊員に同行し、体験実習に挑戦。3月下旬の面接を経て、6月から応援隊員として活動に臨みます。

# 介護職員研修 介護事故の原因分析と再発防止策検討

## ポイントをおさえて事故カンファレンスに取り組もう

2023年度、オンラインでは施設で働く職員を対象に、介護職員研修を5講座実施しました。その一つ、リスクマネジメント研修『介護事故の原因分析と再発防止策検討』（助成：日本社会福祉弘済会）では、すぐに現場に活かせる考え方や方法を知ることができました。講師は（株）安全な介護代表取締役の山田滋さん。グループワークで事例検討も行いながら学びを深めました。

### ◆事故の種類によって 取組方針は違う

「事故には、防ぐべき事故と防げない事故がある。これをきちんと分けることで、開口一番山田さんこう話します。」

「防げない事故とは、どのような対策を講じても発生する恐れがあり、施設に過失や賠償責任を問われない事故のこと。例えば認知

症で普段は立位や歩行のできない人が、いきなり車椅子から立ち上がった転倒です。これはいくら見守りを強化しても防げません。そうした事故については、ケガをしないよう損害軽減策を講じる他、家族にリスクを受入れてもらうことも必要になります。」

### ◆3つの観点から 事故原因を洗い出す

施設の事故報告書には、「職員の注意不足が原因。防止策はもっと注意すること」といった記述がしばしばみられます。しかし「これではダメ」と山田さん。

「事故原因は一つではない。直接原因だけでなく、その背後の誘発要因についても多様な視点から洗い出すこと。会議の際は事前に事故分析シート等を配布し、考えてきた原因を皆で持ち寄ると効果的です。」

「利用者」「介護者」「環境」の3要因から洗い出しを行います。例えば、離床介助時ベッドから車椅子へ移乗の際、利用者が急にふらつき職員が支えきれずに転倒させたという【事例】。「なぜ職員は支えられなかったのか?」「設備などに不備はなかったか?」「といった視点から、直接原因と背後の要因を出し合います。」

### ◆3種類の再発防止策を うまく活用する

事故原因の洗い出しの後、原因を3つに絞り込んで再発防止策を検討します。ここでは「未然防止策」「損害軽減策」「直前防止策」の3つを使い分けることがポイントになります。

「未然防止策」は、事故の根本原因を除去する対策で効果は大きですが、専門知識や医師・理学療法士などの連携も必要です。例えば前出の【事例】では、「利用者のふらつき原因となる処方薬を調べて服薬を変更する」といったことが未然防止策にあたります。

「損害軽減策」は2番目の防止策でモノを使つての対策です。例えば同じく前出の【事例】で、「転倒しても骨折しないようにヒッププロテクターを利用者に装着してもらう」などがこの対策に該当します。

「直前防止策」は、事故が起こりそうになったとき、職員が阻止する対策。職員の負担が増え、必ずしも効果的ではないので順位としては3番目です。「付加価値を頻繁に行う」などが、これにあたります。いづれにしても、事故の原因分析と再発防止策には1週間ほどかけて取り組むこと。そして、施設全体で共有することが不可欠です。

### ◆事故の評価と再発防止策の取組方針

レベル	事故の評価	再発防止策の取組方針	事故の種類
5	どんな対策を講じても防げない事故	事故が起きてもケガをしない対策(損害軽減策) 家族にリスクを受け入れてもらう取組も必要	防げない事故 過失のない事故
4	専門知識・技術がないと防げない事故	多職種の連携やより高度な知識技術を習得	防げる事故 過失のある事故
3	標準的な防止対策で防げる事故	徹底した原因分析と多様な再発防止策	
2	ミスが原因で発生する事故	ミスを防止する対策をミスを見つけて是正する対策	
1	ルール違反で発生する事故	ルール順守の徹底とルール違反の要因を改善	

※講義資料を参考に作成



オンラインで服薬チェック対策を伝える山田さん

## オンブズマン活動 31か所で訪問再開

昨年5月、新型コロナウイルスの感染法上の類型が5類に移したのを機に、訪問再開が始まったオンブズマン活動。現在、グループホーム・小規模多機能を含む31か所で、42人のオンブズマンが活動しています。

コロナ前と同じようにフロアや居室に自由に足を運んで利用者の皆さんとの対話可能などは24か所。他の7か所は面談室等での対話となっています。

コロナに加え、インフルで、久々に施設を訪ね、利

「長い間オンラインでしか面談していなかったの

「以前にも増して職員

「ご寄付いただきました」

### カレンダー

1月～4月

- 1/11 (木) 講演会企画委員会
- 1/12 (金) 応援隊企画会議
- 2/3 (土) 応援隊ミーティング  
オンブズマン研修会
- 2/26 (月) 応援隊企画会議
- 3/12 (火) 外部評価審査委員会
- 3/16(土) 第66回O-ネットセミナー
- 3/18(月) 第3期応援隊養成講座受講者面接(～23日)
- 3/21(木) 理事会
- 4/6(土) 応援隊ミーティング
- 4/12(金) 第25期オンブズマン養成講座(～5/11)

芦田智子、大野富子、荻原満恵、川上正子、川本敏久、黒江ゆり子、後藤田慶子、小林弘法、寺本正紀、西和枝、寝屋川十字の園、藤井敬子、藤本委扶子(以上、敬称略)